

玉藻 第三十二号 目次

第33号

一九九七年（平成九年）八月七日発行

玉藻 第三十二号 目次

『門』――「語り」の機能と參禪の意味するところ――	佐藤裕子	1
古代文学における兄妹	高畠利枝	
源氏物語における夕霧の役割	石阪晶子	24 13
源氏物語正篇における恋愛と身体	和田京子	
巴像の形成	小百合	
――中世女性論への試み――	42 35	
西鶴作品の素材と視点	片野栄子	50
――『好色五人女』をめぐって――		
『南総里見八犬伝』研究	高野稚子	61
――犬士の中での主役と脇役の差異――		
夏目漱石『行人』論	柳生真矢子	
太宰治『右大臣実朝』論	青木真理子	82 74
――『実朝』像神格化の過程――		
坂口安吾『桜の森の満開の下』論	尼子りか	96
――『美しい物語』の所以――		
「霸王別姫」に見る中国電影論	吉田直子	104
もう一つの東西対立境界線“関東・越後線群”	安部清哉	113
――『外日本』『中日本対立分布』『地図集』		
一九九六年度修士論文・卒業論文題目		
会則		
挨拶行動における日中対照研究	遠藤香織	
認知意味論的観点からの社会言語史	日本語学ゼミ	
研究のための試験的調査研究		
清水市方言の一高年層話者の記述的報告	千葉美佐子	左1左13
彙報	左43	140 139 134

玉藻 第三十二号

一九九七(平成九)年七月二八日 印刷

編集兼
フエリス女学院大学国文学会
発行人
代表者 三田村 雅子

印刷所

ワセダ・ユリ・ピー

〒169

東京都新宿区西早稻田一之一七

電話 (03) 3303-1330八

印刷所

フエリス女学院大学国文学会

〒231

横浜市中区山手町三七